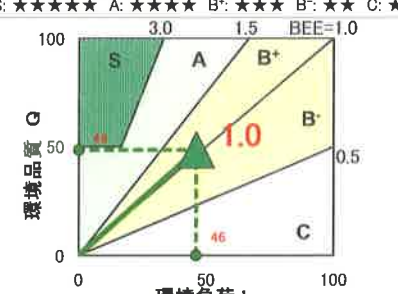
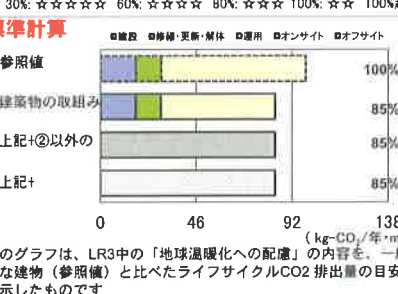
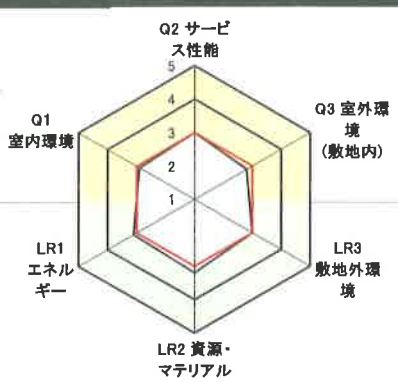


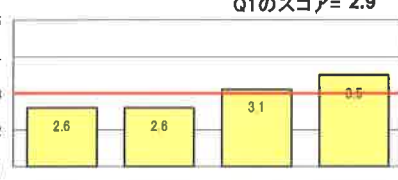
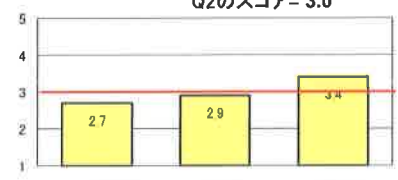
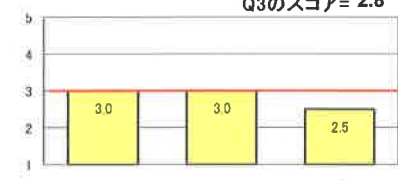
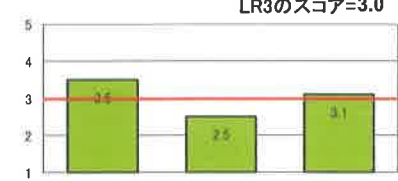
CASBEE[®]-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	リバードコーポレーション(株)ペット	階数	地上2F		
建設地	鳥取県鳥取市賀露町4111、4112、4	構造	S造		
用途地域	準工業地域、都市計画区域内	平均居住人員	77 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	4,032 時間/年(想定値)		
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年4月22日		
敷地面積	5,361 m ²	作成者	森原 真		
建築面積	3,375 m ²	確認日	2019年4月23日		
延床面積	4,595 m ²	確認者	熊澤 幸秀		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.0 ★★★★★ ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。	☆☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9  音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0  機能性 耐用性 対応性	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.8  生物環境 まちなみ 地域性
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1  建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2  水資源 非再生材の 汚染物質	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0  地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合 省エネルギーの採用により、二酸化炭素排出の低減に努めている。	その他 特に無し。	
Q1 室内環境 使用する建材は主にF☆☆☆☆を採用している。	Q2 サービス性能 更新必要間隔の長い硬質ポリ塩化ビニル管を給排水管に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化を積極的に行っている。
LR1 エネルギー 断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮する。	LR2 資源・マテリアル 主要水栓に自動水栓、節水型便器を採用し、節水に努めている。	LR3 敷地外環境 屋外広告物照明の設置をなくし、周辺への光害に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される